

「難病ドットコム」に疾患追加 「小中学生のためのくすり情報」をリニューアル

製薬協ウェブサイトの「難病ドットコム」に疾患追加を行いました。また、「小中学生のためのくすり情報」をリニューアルし「くすり研究所」を公開しています。

「難病ドットコム」に10疾患を追加

▶ URL <http://jpma-nanbyou.com/index.aspx>

2008年4月に製薬協ウェブサイトに「難病ドットコム」という難病の患者向けポータルサイトを新設し、特定疾患や希少疾病について医療情報・生活情報を集約して掲載しています。このたび、新たに10疾患の情報を追加し、これで掲載している疾患は22疾患となりました。

「難病ドットコム」では、患者さんの啓発と病気の存在を社会に認知していただくとともに、患者さんと家族が初めて病気になった際の不安を解消することを目的として情報発信しています。

<追加した10疾患>

肥大型心筋症、パーキンソン病、強皮症、突発性難聴、多発性のう胞腎、レックリングハウゼン病、全身性エリテマトーデス、脊髄小脳変性症、シェーグレン症候群、特発性血小板減少性紫斑病



「難病ドットコム」トップ画面

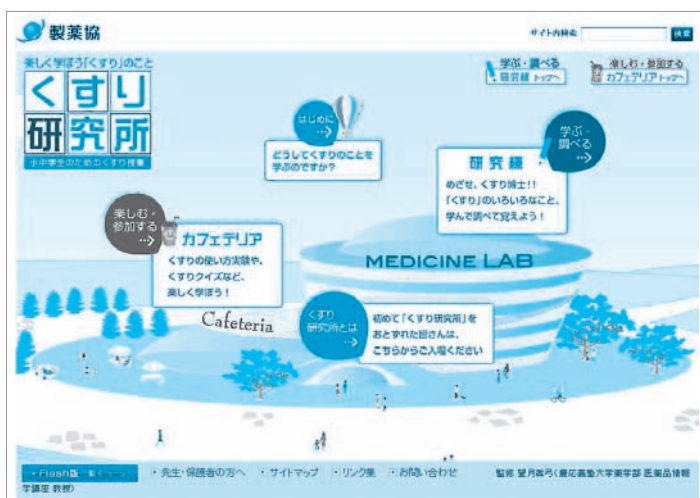
「小中学生のためのくすり情報」をリニューアルし、「くすり研究所」を公開

▶ くすり研究所 URL <http://www.jpma.or.jp/junior/kusurilabo/>

「小中学生のためのくすり情報」をリニューアルし、「くすり研究所」を公開しました。

製薬協は、医薬品産業の健全な発展をめざすために、くすりの正しい知識をひろく普及させる活動を続けてきました。とりわけ、将来を担う子どもたちにとって、健康についての問題意識と、くすりや身体の仕組みの正しい知識は必要不可欠なものといえます。この「くすり研究所」は、子どもたちが、正しいくすりの知識を身につけ、自分の健康や身体を大切にしてほしいという製薬協の願いから誕生しました。

このたびの「くすり研究所」の公開は一次公開であり、今後もコンテンツの充実に向けていきます。



「くすり研究所」トップ画面



「くすり研究所」研究棟
“学ぶ・調べる”画面



「くすり研究所」カフェテリア
“楽しむ・参加する”画面

くすり研究所とは

くすり研究所は、インターネット上に設立した架空の施設で、「研究棟」、「カフェテリア」の2つの建物から構成されています。

研究棟 “学ぶ・調べる” コンテンツ

研究棟は5階建ての建物からなり、フロアごとにくすりの役割や効果、種類、歴史、くすりの偉人伝などのコンテンツを、わかりやすく紹介しています。

薬剤師の女性が案内役となり、くすりについての情報や豆知識を解説しています。

カフェテリア “楽しむ・参加する” コンテンツ

研究棟 “学ぶ・調べる” コンテンツで学習した内容を楽しみながら復習・検証します。「チャレンジ! くすりクイズ」では、研究棟 “学ぶ・調べる” コンテンツで学習した内容を、○×形式で復習し、理解の促進を図ります。

「バーチャルくすり実験室」(準備中)では、実験の様子を動画で掲載し科学的な観点からくすりの“どうして?”を検証します。

対象年齢について

小学校高学年および中学生を対象としています。小学校5年生以上で習得する漢字には読み仮名をふり、わかりやすい言葉を使用し、適切なボリュームで紹介しています。また専門用語やむずかしいと思われる言葉には、用語の解説ページを設けています。

先生・保護者向け解説

先生・保護者向けとして、各項目でより詳しい情報を提供し、学習した内容の補足および追加情報として、子どもたちに紹介できる内容を掲載する予定です。また、学習の補助教材として、実験レポート用紙も用意する予定です。

(広報部)